

=====

第30回 愛媛形成外科研修会

抄 錄 集

=====

日 時 平成24年12月1日(土) 17時30分~

場 所 独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター
新棟3階 研修室
松山市南梅本町甲160 TEL:089-999-1111)

当番世話人 愛媛大学医学部附属病院
形成外科 中岡 啓喜

第30回 愛媛形成外科研修会

研修会

1. 受付は当日 17時00分より会場で行います。
※お車でお越しの方は、誠に申し訳ございませんが一律 100円の駐車料金がかかります。
2. 参加費は 2000円を申し受けます。
3. 演者で、まだ研修会会員でない先生は、入会の手続きをお取り下さい。
4. 討論時間は、一題あたり 5分を予定しております。
5. 発表形式は Windows Power Point 2007によるPCプレゼンテーションでお願いいたします。(当日はUSBメモリーあるいはPC本体を持参して下さい。)

連絡先

〒791-0295 愛媛県東温市志津川

愛媛大学医学部附属病院 形成外科 中岡 啓喜

E-mail: hirok@m.ehime-u.ac.jp

TEL: 089-960-5350

会歴

会期	世話人	会場	日時	参加者
第1回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	松山成人病センター	平成10年7月4日	15名
第2回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	愛媛県医師会研修所	平成10年12月5日	17名
第3回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	松山成人病センター	平成11年6月19日	20名
第4回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成11年11月27日	19名
第5回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成12年6月24日	17名
第6回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 会議室	平成12年12月9日	20名
第7回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成13年6月23日	23名
第8回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成13年12月8日	23名
第9回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 会議室	平成14年6月8日	27名
第10回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成14年12月14日	27名
第11回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成15年6月28日	25名
第12回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 会議室	平成15年12月13日	25名
第13回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成16年6月26日	26名
第14回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成16年12月4日	29名
第15回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 会議室	平成17年6月18日	31名
第16回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成17年12月10日	35名
第17回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成18年6月24日	31名
第18回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 研修室	平成18年12月9日	26名
第19回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成19年6月16日	37名
第20回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成19年12月15日	30名
第21回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 研修室	平成20年6月14日	30名
第22回	庄野 佳孝 (松山赤十字病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成20年12月6日	30名
第23回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成21年6月27日	32名
第24回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成21年12月12日	28名
第25回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 研修室	平成22年6月19日	34名

第26回	田中 伸二 (石川病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成22年12月11日	30名
第27回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成23年6月18日	31名
第28回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成23年11月26日	25名
第29回	庄野 佳孝 (松山赤十字病院 形成外科)	えひめ共済会館 4階 末広	平成24年6月23日	34名
第30回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部附属病院 形成外科)	四国がんセンター 新棟 3階研修室	平成24年12月1日	名

独立行政法人 国立病院機構

四国がんセンター

愛媛県松山市南梅本町甲 160
(TEL : 089 - 999 - 1111)

最寄り駅：伊予鉄横河原線 梅本駅下車 徒歩 5 分
伊予鉄横河原線 牛渕団地前駅下車 徒歩 6 分



プログラム

Section I (17:30～18:10)

座長:わたなべ皮ふ科形成外科 渡部隆博 先生

1. ベセルナクリーム®の使用経験

市立宇和島病院 形成外科 野澤竜太 他

2. 出生直後に受傷した創がほとんど目立たなくなった頬部切創の治療経験

愛媛労災病院 形成外科 木暮倫久 他

3. 広範囲刺青に対する高エネルギー密度を用いた分割レーザー治療

愛媛大学医学部附属病院 形成外科 中岡啓喜 他

4. 特異な外観を呈した Hematoma の一例

石川病院 形成外科 米田武史 他

Section II (18:10～18:50)

座長:愛媛県立南宇和病院 皮膚科 森戸浩明 先生

5. 体幹から右下肢の先天性リンパ浮腫の 1 例

愛媛大学医学部附属病院 形成外科 戸澤麻美 他

6. 境界不明瞭であり、再手術を要した斑状強皮症型 BCC の 1 例

愛媛大学医学部附属病院 形成外科 宝道麻由 他

7. Atypical Fibroxanthoma のリンパ節転移が疑われた 1 例

松山赤十字病院 形成外科 北村弥生 他

8. 左耳後部の慢性放射線潰瘍の治療経験

愛媛県立中央病院 形成外科 徳永和代 他

Section III (18:50～19:30)

座長：愛媛県立中央病院 形成外科 徳永和代先生

9. 最小の侵襲で治療した Le Fort 型を含む顔面多発骨折の1例

松山市民病院 形成外科 手塚 敬 他

10. 治療に難渋した下顎骨骨髓炎の1例

愛媛県立中央病院 形成外科 尾崎絵美 他

11. 僧帽筋皮弁で再建を行った下顎部瘻孔の2例

愛媛大学医学部附属病院 形成外科 森 秀樹 他

12. 肛門切除後の組織欠損に対し大臀筋弁を用いた1例

四国がんセンター 形成外科 藤田 悟志 他

Section I (17:30～18:10)

座長:わたなべ皮ふ科形成外科 渡部隆博 先生

1. ベセルナクリーム®の使用経験

市立宇和島病院 1)形成外科、2)皮膚科

○野澤竜太¹⁾、薬師寺直喜²⁾

発表時間(3分)

2011年11月よりベセルナクリーム®(イミキモド・クリーム)に日光角化症が効能追加された。比較的良好な結果を得たと思われる 73 歳、女性・右眉毛部、76 歳、女性・両頬部の症例を供覧する。

2. 出生直後に受傷した創がほとんど目立たなくなった頬部切創の治療経験

愛媛労災病院 形成外科

○木暮倫久、加藤嘉秀、黒住 望

発表時間(3分)

症例は出生直後の女児、帝王切開時にメスの刃があたり頬部に脂肪層までの切創を受傷した。受傷後、当院医師が診察し縫合せずサージカルテープのみでの創閉鎖を行い、受傷 6 ヶ月であるが、創はほとんど目立たない程度に治癒した。胎児、新生児での創傷治癒は通常の創傷治癒と比べ良好とされているが、実際にはどれくらい無瘢痕で治癒するかの報告は少ない。今回、貴重な症例を経験したので症例を供覧したい。

3. 広範囲刺青に対する高エネルギー密度を用いた分割レーザー治療

1)愛媛大学医学部附属病院 形成外科、2)美容外科 さくらクリニック

○中岡啓喜¹⁾、福井卓也²⁾

発表時間(5分)

症例は 22 歳から 26 歳で、男性 4 例、女性 1 例であった。刺青は背部前面が 2 例、上肢から胸部におよぶもの 2 例、腹部から下肢におよぶもの 1 例で、全例専門家によるものであった。色調は概ね紺から黒色で、一部に赤色が見られた。治療は局所麻酔下に Nd: YAG laser を使用し、照射範囲を分割して、高出力で照射を行ない、比較的良好な結果を得た。実際の照射方法を紹介し、症例を供覧する。

4. 特異な外観を呈した Hematoma の一例

石川病院 形成外科

○米田武史、田中伸二

発表時間(5分)

症例は 91 歳女性。外傷後の縫合創から肉芽形成を認めたとのことで、当院に紹介となった。前額部に
径 2cm 大の赤褐色の腫瘍を認めた。悪性腫瘍の可能性も考慮し切除術を行った。病理組織は
Hematoma の診断であった。

Section II (18:10～18:50)

座長：愛媛県立南宇和病院 皮膚科 森戸浩明 先生

5. 体幹から右下肢の先天性リンパ浮腫の1例

愛媛大学医学部附属病院 形成外科

○戸澤麻美、中岡啓喜、森 秀樹、宝道麻由

発表時間(5分)

1歳女児。右体幹～右下肢の先天性リンパ浮腫と紅色斑。1歳9か月時、大腿、下腿、足背内側にかけての減量手術、Z形成術による拘縮解除を行った。2歳2か月時、大腿部の減量手術および陰核部の形成術、腹部の赤色斑に対してV-beamレーザー照射を行った。右下肢に対して包帯圧迫を開始し、腫脹は著明に改善した。脚長差に対しては装具作成して経過観察中である。浮腫症状の制御には圧迫が重要であると考えた。

6. 境界不明瞭であり、再手術を要した斑状強皮症型BCCの1例

愛媛大学医学部附属病院形成外科

○宝道麻由、中岡啓喜、森 秀樹、戸澤麻美

発表時間(5分)

63歳女性。約20年前から右鼻背に約1mm大の褐色斑があり、次第に拡大してきた。右鼻背に18×11mm大の隆起性局面があり、内部に黒色結節が集簇していた。生検でBCCと診断し、腫瘍辺縁より3mm離し鼻筋内、一部軟骨膜上で切除した。術後、病理学的に垂直断端陽性で、再手術を要した。組織学的に微小結節型の aggressive type であるため、注意深い経過観察が必要と考える。教訓的症例と考え報告する。

7. Atypical Fibroxanthomaのリンパ節転移が疑われた1例

松山赤十字病院 形成外科

○北村弥生、庄野佳孝

発表時間(5分)

91歳男性。右頸部の半球状に隆起する皮膚腫瘍を主訴に2010年に当科初診し全摘術をおこない病理結果でAtypical Fibroxanthomaと診断された。2012年に右頸部皮下腫瘍が出現。AFXのリンパ節転

移を疑い切除をおこなったが病理結果では SCC であった 1 例を経験したので、若干の文献的考察を加えて報告する。

8. 左耳後部の慢性放射線潰瘍の治療経験

愛媛県立中央病院 形成外科

○徳永和代、小林一夫、中川浩志、西 建剛、尾崎絵美

発表時間(5分)

第 29 回愛媛形成外科研修会(演題6)で四国がんセンターから発表された症例に対する治療経験を報告する。75 歳男性、左耳後部に 40 年前の放射線療法による慢性放射線潰瘍を認めた。耳鼻科と合同で治療計画を立て、腐骨を切除した後、約3週間肉芽の増生を促し、側頭筋膜弁と広頸筋皮弁で創を被覆した。術後皮弁の部分壊死を認め再度潰瘍を生じたため、局所陰圧閉鎖療法を行い、分層植皮で創部を閉鎖した。

Section III (18:50～19:30)

座長：愛媛県立中央病院 形成外科 徳永和代先生

9. 最小の侵襲で治療した Le Fort 型を含む顔面多発骨折の1例

松山市民病院形成外科

○手塚 敏、光野乃祐

発表時間(3分)

19歳女性。飛び降りて Le Fort(左右別)型、右頬骨体を骨折した。受傷日に Gillies 切開から頬骨、切開せず上顎授動鉗子で Le Fort 型骨折を整復した。

10. 治療に難渋した下顎骨骨髓炎の1例

愛媛県立中央病院 形成外科

○尾崎絵美、小林一夫、中川浩志、西 建剛、徳永和代

発表時間(5分)

78歳男性、3年前舌癌の治療のためTAIと放射線療法が施行された。その後、歯科治療の抜歯を機に下顎骨骨髓炎が生じ、保存的に加療されていた。今年1月から骨髓炎が増悪し、口腔内創部から多量出血を認め、当科に紹介された。肋骨付き広背筋皮弁とリコンストラクションプレートを用い、下顎骨と皮膚の再建を行った。術後4か月間で移植骨が徐々に溶解したため、移植骨のデブリードマンとDP皮弁による創部閉鎖を行った。放射線照射部の治療問題点を加え、症例を報告する。

11. 僧帽筋皮弁で再建を行った下顎部瘻孔の2例

愛媛大学医学部附属病院 形成外科

○森 秀樹、中岡啓喜、戸澤麻美、宝道麻由

発表時間(5分)

症例1：32歳男性。左下顎部軟部悪性腫瘍のため数回の手術・化学療法後に左頬部から下顎にかけて口腔内と連続する瘻孔が残存した。症例2：55歳男性。左下顎部有棘細胞癌のため数回の手術・化学療法後に再建プレートが露出し、左下顎部に瘻孔が残存した。この2症例に対し僧帽筋皮弁による再建を行ったので報告する。

12. 肛門切除後の組織欠損に対し大臀筋弁を用いた1例

四国がんセンター 形成外科

○藤田 悟志、河村 進

発表時間(3分)

60歳代の男性。陰部有棘細胞癌を認め、皮膚悪性腫瘍切除術および肛門合併切除術、分層メッシュ植皮術、人工肛門造設術を施行した。術中に肛門括約筋切除部の組織欠損を認めたため、大臀筋弁により欠損部を覆った。術中所見と術後経過を報告する。

愛媛形成外科研修会 総会(19:30~)

1. 次回研修会の日程
2. その他